2016/10/04 HTML

* テキストエンコーディングに注意(UTF-８など)
* metaタグはheadの上ではなく下に
* titleは検索エンジンが見つけるにあたってすごく大事
* itle要素は、後日説明する h1要素（<h1>〜</h1>）よりも、**検索ロボットが重要視する、第一位の要素**です。
* タイトル要素とh1が検索エンジンで大事　（これいろんなwebサイトで検証してみると面白い）

課題：ドットインストール

2016/10/05 HTML

* コメントアウトはcommand + /
* brで段落分けしない（pタグなどを使うので、あまりbr使う機会がない）
* divで囲んだ親要素をスタイルシートで色や大きさを場合、それ以下の子要素（h1,pとか）は大きさや色を指定しない限り、親要素で指定した通りになる
* イメージタグは、違うディレクトリにある画像を指定する場合、（例えばimageっていうファイルにある場合は）image/marry.jpeg　のようにimage/ で場所を指定する。

2016/10/06 HTML

* セレクタ、プロパティ：値
* clearfix
* httpとhttpsの違い
* 例えば　<http://www.sponichi.co.jp/sports/news/2016/09/09/kiji/K20160909013322800.html>　←黄色の部分がwebサーバーの名前
* 絶対URLと相対URLの違い
* 上は後ろの部分でサイトのディレクトリまで全てを記述しているから、絶対URL
* リンクさせたいURLが他のディレクトリにある場合は、「../」を使って、階層をあげてその後に相対URLを書く。上がりたい階層分../を前に置く。
* リンクのa タグをクリック後に色変えたりする場合、擬似クラスであるa:hover {}を使う。（aとhoverの間の　:　は擬似クラスという）

Ex: a:hover {

color: #9900FF;

text-decoration: underline;

font-style: italic;

* link, visited, activeで使い分ける。(linkは行ったことないリンク, visitedは行ったことある場合, activeはマウスをのせた時)

2016/10/07 HTML

* cssでimageタグの部分でborder-style: none;をして画像の周りの線を消す(chromeは最初からないけど、ブラウザによってはある)
* 逆に指定する時は、border: 5px solid gray とかにする
* 画像をクリックしてリンクに飛んだり、文字をクリックしてリンクに飛びたい場合は、htmlで、<a href=”リンク先”>で囲む

ex: <a href="https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A6%8F%E5%8E%9F%E6%84%9B#.E6.88.90.E7.B8.BE">福原 愛</a>

<a href="http://ameblo.jp/fukuhara-ai-blog/">

<img src="aichan.jpeg" alt愛ちゃん>

</a>

p.btn a {

background: url(image/button.gif)no-repeat left top;

width: 140px;

height: 36px;

display: block;

color: #FFFFFF;

font-size: 15px;

line-height: 36px;

text-align: center;

}

・**background: url(リンク先のurl) no-repeat left top;**

* background: は背景の設定
* no−repeatで背景が指定した画像で埋まらないようにする
* left topで背景の画像の位置を指定する(例えば 3.htmlの婚約指輪の部分)

・display：

* line-height: で文字の上下の位置を調整（背景のheightによってまた違う）
* text-aligin: で文字の位置を調整
* 何故 id ではなく、classにしたのか？(ex: <p class=”btn”> )

・classは複数のグループを一緒にcssで編集したい場合を考えて、htmlでclassを作る。

CSSで↓

p.btn a {

background: url(image/button.gif)no-repeat left top;

width: 140px;

height: 36px;

display: block;

color: #FFFFFF;

font-size: 15px;

line-height: 36px;

text-align: center;

}

p.btn a:hover {

background: url(image/button.gif) no-repeat right top;

☝︎こうやってクラスを使って編集できる☝︎

2016/10/09

* フォントにも流行りがある
* font-family: で何個かフォントを設定して、それが当てはまるものがあればデバイスごとに当てはまるフォントを書いたやつの中で自動的に適応される
* 複数書いて、当てはまるものが複数ある場合は前に変えたやつから読まれる
* Helvetica(ヘルベチカ)とかかっこいい字体